

環境試料(大気浮遊じん及び大気降下物)中の 核種分析調査結果

調査の概要

1. 評価の対象とする調査

環境放射線等モニタリング調査(離島調査)

環境放射能水準調査(水準調査)

2. 調査試料及び調査地点

調査試料	調査地点	
	離島調査	水準調査
大気浮遊じん	8道県 10地点	47都道府県 49地点
大気降下物	4道県 4地点	47都道府県 48地点

3. 調査方法

Ge半導体検出器を用いたγ線スペクトロメトリー

調査地点

- ✧ 大気浮遊じん 採取地点 (環境放射線等モニタリング調査: 10地点)
- ✕ 大気降下物 採取地点 (環境放射線等モニタリング調査: 4地点)
- △ 大気浮遊じん 採取地点 (環境放射能水準調査: 49地点)
- ▽ 大気降下物 採取地点 (環境放射能水準調査: 48地点)



大気浮遊じんの調査結果

エアサンプラ(大気採取機器)を使用し、大気中に浮遊している「ちりやほこり」をろ紙上に集め、分析を行うことにより、大気中における放射性物質の状況を把握することができる。

大気浮遊じん(離島調査)の評価方法

今回の評価対象とする調査結果	平成28年4月 - 平成29年3月採取分 8道県 10地点 連続捕集、3ヵ月ごとに分析
比較対象①	平成25年4月 - 平成28年3月採取分 8道県 10地点 連続捕集、3ヵ月ごとに分析
比較対象②	平成20年1月 - 平成22年12月採取分 8道県 10地点 連続捕集、3ヵ月ごとに分析

10地点は利尻、竜飛岬、佐渡関岬、越前岬、隠岐、蟠竜湖、檜原、対馬、五島、辺戸岬

離島調査における大気浮遊じんの調査結果一覧

γ線スペクトロメトリー

単位:mBq/m³

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②		
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月		
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)
利尻	ND	ND	1.9 - 2.4	ND	ND	1.6 - 2.6	ND	ND	ND - 3.1
竜飛岬	ND	ND	2.0 - 3.0	ND	ND	1.7 - 3.4	ND	ND	1.6 - 3.9
佐渡関岬	ND	ND	2.3 - 3.4	ND	ND	2.1 - 3.6	ND	ND	ND - 4.3
越前岬	ND	ND	2.0 - 3.2	ND	ND	2.0 - 4.2	ND	ND	2.2 - 5.7
隠岐	ND	ND	2.5 - 4.1	ND	ND	2.1 - 4.0	ND	ND	ND - 4.5
蟠竜湖	ND	ND	2.6 - 3.9	ND	ND	1.7 - 3.9	ND	ND	ND - 4.7
檜原	ND	ND	1.8 - 4.1	ND	ND	1.5 - 3.9	ND	ND	ND - 4.8
対馬	ND	ND	2.5 - 4.7	ND	ND	1.6 - 4.7	ND	ND	ND - 4.6
五島	ND	ND	2.2 - 4.1	ND	ND	1.3 - 4.5	ND	ND	ND - 4.9
辺戸岬	ND	ND	1.7 - 4.7	ND	ND	1.1 - 4.9	ND	ND - 0.0095	ND - 4.9

大気浮遊じんの捕集に用いたろ紙(HE-40T)には微量の¹³⁷Csが含まれているため、試料の放射能濃度からろ紙に含まれる¹³⁷Csをブランク値として差引いた。

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。

詳細な調査結果は参考資料に掲載した。

⁷Beは自然起源の放射性核種であり、大気中に常に一定量存在する。測定結果を確認することによって、分析・測定全般が正しく行われているか判断する一つの目安となる。

大気浮遊じん(水準調査)の評価方法

今回の評価対象とする 調査結果	平成28年4月 - 平成29年3月採取分 47都道府県 49地点 3ヵ月ごとに分析
比較対象①	平成25年4月 - 平成28年3月採取分 47都道府県 49地点 3ヵ月ごとに分析
比較対象②	平成20年1月 - 平成22年12月採取分 38府県 38地点 3ヵ月ごとに分析

水準調査における大気浮遊じんの調査結果一覧(1)

単位: mBq/m³

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②			調査開始時期
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月			
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	
北海道札幌市	ND	ND	1.5 - 2.2	ND	ND	0.50 - 3.0	-	-	-	H24/4/25
青森県青森市	ND	ND	1.9 - 3.3	ND	ND	1.7 - 4.0	-	-	-	H24/4/20
岩手県盛岡市	ND	ND	2.0 - 4.4	ND	ND	2.6 - 5.7	-	-	1.8 - 6.1	S63/4/6
宮城県仙台市	ND	0.0047 - 0.010	-	ND - 0.069	ND - 0.14	-	-	-	-	H24/4/20
秋田県秋田市	ND	ND	3.0 - 5.2	ND	ND	2.3 - 4.9	-	ND	1.7 - 3.5	H4/4/27
山形県山形市	ND	ND	1.7 - 3.5	ND	ND - 0.021	1.6 - 4.2	-	ND	1.4 - 4.6	H1/4/14
福島県大熊町	0.063 - 0.11	0.38 - 0.58	2.1 - 3.6	0.042 - 1.3	0.20 - 3.0	0.83 - 4.5	-	ND	3.1 - 79	S63/5/30
福島県福島市	0.0067 - 0.020	0.024 - 0.12	2.0 - 3.3	0.0093 - 0.048	0.031 - 0.16	1.5 - 2.8	-	-	-	H26/4/8
茨城県ひたちなか市	ND	ND - 0.013	2.5 - 5.2	ND - 0.046	0.0065 - 0.086	2.6 - 4.7	ND	ND	3.9 - 5.5	S63/4/1
栃木県宇都宮市	ND	ND	-	ND - 0.017	ND - 0.038	-	ND	ND	-	S63/1/21
群馬県前橋市	ND	ND	1.3 - 3.7	ND	ND - 0.012	1.4 - 2.9	-	ND	1.1 - 4.2	H2/10/31
埼玉県加須市	ND	ND	1.5 - 2.8	ND	ND - 0.019	0.88 - 3.4	-	ND	1.4 - 9.3	H20/4/3

原子力規制庁の環境放射線データベース内の調査結果を基に作成した。

測定値は、計数値が計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。

詳細な調査結果は参考資料に掲載した。

比較対象①について、福島県福島市は約2年間分(平成26年4月 - 平成28年3月)の調査結果となっている。

⁷Beは自然起源の放射性核種であり、大気中に常に一定量存在する。測定結果を確認することによって、分析・測定全般が正しく行われているか判断する一つの目安となる。

水準調査における大気浮遊じんの調査結果一覧(2)

単位: mBq/m³

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②			調査開始時期
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月			
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	
千葉県市原市	ND	ND - 0.0085	1.5 - 3.1	ND - 0.012	ND - 0.026	1.8 - 4.8	ND	ND	2.9 - 6.9	H3/4/4
東京都新宿区	ND	ND - 0.011	1.3 - 2.5	ND - 0.0083	ND - 0.022	1.2 - 2.7	-	-	-	H24/4/5
神奈川県茅ヶ崎市	ND	ND	1.8 - 3.5	ND - 0.0083	ND - 0.017	1.3 - 3.3	ND	ND	1.2 - 4.0	H1/3/28
新潟県新潟市	ND	ND	2.0 - 4.8	ND	ND	2.0 - 4.2	-	ND	2.8 - 5.0	S63/4/18
富山県射水市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	ND	-	S63/4/20
石川県金沢市	ND	ND	1.2 - 2.7	ND	ND	1.4 - 3.1	-	-	-	H24/4/20
福井県福井市	ND	ND	1.6 - 3.5	ND	ND	1.4 - 4.1	-	ND	1.7 - 5.6	S63/4/12
山梨県甲府市	ND	ND	1.9 - 4.3	ND	ND	1.5 - 5.3	-	ND	2.3 - 6.3	S63/4/21
長野県長野市	ND	ND	1.4 - 4.1	ND	ND	1.2 - 4.5	-	ND	1.3 - 6.5	S63/10/17
岐阜県各務原市	ND	ND	1.5 - 3.1	ND	ND	1.2 - 4.1	ND	ND	1.2 - 4.4	H2/11/21
静岡県御前崎市 牧之原市	ND	ND	2.1 - 5.2	ND	ND - 0.0030	2.2 - 5.2	-	ND	2.2 - 7.0	S63/4/20
愛知県名古屋市	ND	ND	1.3 - 4.8	ND	ND	1.5 - 3.8	-	ND	1.3 - 4.3	S63/1/20

水準調査における大気浮遊じんの調査結果一覧(3)

単位: mBq/m³

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②			調査開始時期
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月			
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	
三重県四日市市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	ND	-	S63/10/3
滋賀県大津市	ND	ND	4.3 - 6.3	ND	ND	3.0 - 7.7	-	ND	1.1 - 5.7	H1/10/21
京都府京都市	ND	ND	1.8 - 4.9	ND	ND	1.5 - 6.4	-	ND	2.3 - 5.4	S63/4/11
大阪府大阪市	ND	ND	1.0 - 2.8	ND	ND	1.2 - 3.2	-	-	1.7 - 9.7	S63/10/3
兵庫県神戸市	ND	ND	3.0 - 6.5	ND	ND	2.7 - 6.9	-	ND	1.7 - 5.1	S62/11/16
兵庫県豊岡市	ND	ND	2.6 - 4.3	ND	ND	1.6 - 3.5	-	ND	1.9 - 4.2	S62/11/27
奈良県桜井市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	ND	1.4 - 4.1	H2/3/5
和歌山県和歌山市	ND	ND	-	ND	ND	-	ND	ND	-	S63/4/1
鳥取県湯梨浜町	ND	ND	-	ND	ND	2.2 - 3.9	ND	ND	1.4 - 4.1	H2/10/2
島根県松江市	ND	ND - 0.00063	4.2 - 6.1	ND	ND	3.4 - 17	-	-	-	H24/3/30
岡山県岡山市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	ND	1.2 - 4.3	H4/1/20
広島県広島市	-	-	1.8 - 3.9	-	-	1.3 - 3.8	-	-	2.0 - 4.3	H1/4/5
山口県山口市	ND	ND	2.3 - 4.5	ND	ND	3.4 - 8.4	-	ND	0.18 - 6.9	S63/11/21

水準調査における大気浮遊じんの調査結果一覧(4)

単位: mBq/m³

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②			調査開始時期
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月			
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	
徳島県徳島市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	ND	-	H2/4/16
香川県高松市	ND	ND	2.1 - 7.2	ND	ND	2.9 - 6.5	-	ND	1.8 - 9.8	S63/7/27
愛媛県八幡浜市	ND	ND	1.5 - 4.3	ND	ND	1.3 - 3.9	-	-	-	H24/4/4
高知県高知市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	H24/4/18
福岡県太宰府市	ND	ND	1.9 - 5.9	ND	ND	1.7 - 5.1	-	-	-	H24/4/24
佐賀県佐賀市	ND	ND	1.0 - 4.3	ND	ND	1.5 - 5.3	-	ND	1.9 - 6.2	S63/6/22
長崎県大村市	ND	ND	2.8 - 6.8	ND	ND	2.8 - 7.2	-	ND	1.2 - 19	H2/10/3
熊本県宇土市	ND	ND	1.0 - 5.3	ND	ND	1.1 - 4.9	-	ND	2.5 - 5.7	H1/10/11
大分県大分市	ND	ND	1.9 - 5.3	ND	ND	1.6 - 6.9	-	ND	1.4 - 6.0	S63/4/1
宮崎県宮崎市	ND	ND	0.92 - 2.8	ND	ND	0.0042 - 4.8	-	ND	ND - 5.9	S63/7/4
鹿児島県鹿児島市	ND	ND	1.9 - 4.1	ND	ND	2.1 - 7.1	-	-	-	H24/4/20
沖縄県南城市	ND	ND	2.8 - 6.6	ND	ND	1.3 - 8.3	-	ND	0.98 - 9.2	H17/6/21

大気浮遊じんの調査結果の評価

γ線スペクトロメトリーによって大気浮遊じんを分析した結果、一部の調査地点では、人工放射性核種である ^{134}Cs 及び ^{137}Cs がわずかに検出されたものの、ほぼ全ての地点において検出下限値を下回った。また、今回の調査結果は、概ね過去の調査結果(①過去3ヶ年度及び②東日本大震災以前のデータ)と比べて特段の変化は見られなかった。

大気降下物の調査結果

水を充填した大型水盤を用いて、一定期間に地上に降ってきた雨やちり等の分析を行うことにより、大気中における放射性物質の状況を把握することができる。

大気降水物(離島調査)の評価方法

今回の評価対象とする調査結果	平成28年4月 - 平成29年3月採取分 4道県 4地点 連続捕集、3ヵ月ごとに分析
比較対象①	平成25年4月 - 平成28年3月採取分 4道県 4地点 連続捕集、3ヵ月ごとに分析
比較対象②	平成20年1月 - 平成22年12月採取分 4道県 4地点 連続捕集、3ヵ月ごとに分析

4地点は利尻、佐渡関岬、隠岐、五島

離島調査における大気降下物の調査結果一覧

γ線スペクトロメリー

単位: MBq/km²

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②		
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月		
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)
利尻	ND	ND - 0.087	240 - 420	ND	ND - 0.34	190 - 360	ND	ND - 0.20	220 - 460
佐渡関岬	ND	ND - 0.11	310 - 560	ND	ND - 0.29	120 - 630	ND	ND - 0.15	210 - 910
隠岐	ND	ND - 0.16	170 - 520	ND	ND - 0.13	100 - 490	ND	ND - 0.12	140 - 570
五島	ND	ND - 0.056	210 - 450	ND	ND - 0.20	150 - 410	ND	ND - 0.12	150 - 490

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。

詳細な調査結果は参考資料に掲載した。

⁷Beは自然起源の放射性核種であり、大気中に常に一定量存在する。測定結果を確認することによって、分析・測定全般が正しく行われているか判断する一つの目安となる。

大気降水物(水準調査)の評価方法

今回の評価対象とする 調査結果	平成28年4月 - 平成29年3月採取分 47都道府県 48地点 連続捕集、1ヵ月ごとに分析
比較対象①	平成25年4月 - 平成28年3月採取分 47都道府県 48地点 連続捕集、1ヵ月ごとに分析
比較対象②	平成20年1月 - 平成22年12月採取分 47都道府県47地点 連続捕集、1ヵ月ごとに分析

水準調査における大気降下物の調査結果一覧(1)

単位: MBq/km²

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②			調査開始時期
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月			
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	
北海道札幌市	ND	ND	110 - 390	ND - 0.12	ND - 0.24	50 - 270	ND	ND - 0.15	34 - 270	H2/10/1
青森県青森市	ND	ND	62 - 390	ND - 0.079	ND - 0.16	33 - 550	ND	ND - 0.18	96 - 550	H3/1/5
岩手県盛岡市	ND - 0.12	ND - 0.68	76 - 250	ND - 1.3	ND - 2.4	43 - 400	ND	ND - 0.10	0.017 - 330	S63/4/1
宮城県仙台市	0.076 - 0.48	0.20 - 1.7	-	ND - 5.8	0.20 - 11	-	-	ND	24 - 310	H1/4/3
秋田県秋田市	ND	ND - 0.073	97 - 600	ND - 0.16	ND - 0.41	56 - 550	ND	ND - 0.31	54 - 530	H1/12/31
山形県山形市	ND - 0.21	0.21 - 1.0	51 - 200	ND - 3.2	0.22 - 6.4	23 - 330	ND	ND	ND - 260	H1/4/1
福島県大熊町	13 - 770	71 - 4700	-	17 - 1900	72 - 6800	-	-	ND - 0.090	12 - 730	S63/4/30
福島県福島市	0.80 - 25	4.4 - 150	-	1.7 - 64	6.7 - 210	-	-	-	-	H26/4/3
茨城県ひたちなか市	ND - 1.1	0.51 - 6.9	58 - 280	0.19 - 16	0.94 - 34	21 - 330	ND	ND - 0.62	10 - 350	S63/4/1
栃木県宇都宮市	ND - 0.25	0.088 - 1.2	-	0.083 - 5.0	0.24 - 9.3	-	ND	ND - 0.083	-	S63/1/4
群馬県前橋市	ND - 1.3	0.22 - 7.7	13 - 180	ND - 6.7	0.19 - 13	5.3 - 270	-	ND - 0.12	9.8 - 260	H2/10/23
埼玉県吉見町	ND - 0.18	0.12 - 0.93	17 - 210	ND - 3.9	0.072 - 7.8	12 - 280	-	ND - 0.14	23 - 410	H4/1/4

原子力規制庁の環境放射線データベース内の調査結果を基に作成した。

測定値は、計数値が計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。

詳細な調査結果は参考資料に掲載した。

比較対象①について、福島県福島市は約2年間分(平成26年4月 - 平成28年3月)の調査結果となっている。

⁷Beは自然起源の放射性核種であり、大気中に常に一定量存在する。測定結果を確認することによって、分析・測定全般が正しく行われているか判断する一つの目安となる。

水準調査における大気降下物の調査結果一覧(2)

単位: MBq/km²

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②			調査開始時期
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月			
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	
千葉県市原市	ND - 0.34	0.19 - 2.4	29 - 210	ND - 2.5	0.21 - 4.6	39 - 350	ND	ND - 0.075	14 - 360	H2/10/1
東京都新宿区	ND - 0.87	0.26 - 5.6	35 - 230	0.073 - 5.9	0.30 - 11	23 - 340	ND	ND	9.6 - 430	H1/10/2
神奈川県茅ヶ崎市	ND - 0.29	0.11 - 1.9	18 - 220	0.034 - 1.7	0.15 - 3.0	27 - 240	ND	ND	17 - 380	S52/10/1
新潟県新潟市	ND	ND - 0.12	49 - 600	ND - 0.59	ND - 1.3	36 - 630	ND	ND - 0.082	ND - 540	S63/4/1
富山県射水市	ND	ND - 0.044	-	ND	ND	-	-	ND - 0.28	-	S63/3/1
石川県金沢市	ND	ND	120 - 1200	ND	ND - 0.054	80 - 1200	ND	ND - 0.54	77 - 1600	H2/3/29
福井県福井市	ND	ND	80 - 680	ND	ND	27 - 1100	-	ND - 0.35	52 - 1300	S63/3/30
山梨県甲府市	ND	ND - 0.18	11 - 180	ND - 0.058	ND - 0.24	14 - 150	ND	ND	15 - 420	S63/4/1
長野県長野市	ND	ND - 0.14	24 - 120	ND - 0.41	ND - 1.1	17 - 190	-	ND	13 - 170	S62/11/2
岐阜県各務原市	ND	ND	-	ND	ND	-	ND	ND	-	H2/11/1
静岡県静岡市	ND	ND - 0.082	32 - 390	ND - 0.26	ND - 0.63	60 - 580	ND	ND	27 - 510	S63/4/1
愛知県名古屋	ND	ND	19 - 150	ND	ND - 0.044	24 - 160	-	ND	25 - 250	S62/12/1

水準調査における大気降下物の調査結果一覧(3)

単位: MBq/km²

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②			調査開始時期
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月			
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	
三重県四日市市	ND	ND - 0.071	-	ND - 0.63	ND - 2.0	-	-	ND - 0.071	-	S63/10/1
滋賀県大津市	ND	ND	51 - 240	ND	ND	45 - 200	-	ND	26 - 300	H1/11/1
京都府京都市	ND	ND	56 - 180	ND	ND	23 - 170	ND	ND - 0.32	17 - 300	S63/4/1
大阪府大阪市	ND	ND	35 - 170	ND	ND	29 - 160	-	ND	28 - 240	S63/9/30
兵庫県神戸市	ND	ND	26 - 160	ND	ND	22 - 180	-	ND	13 - 180	S62/9/30
奈良県桜井市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	ND	16 - 190	H1/12/28
和歌山県和歌山市	ND	ND	-	ND - 0.32	ND - 0.79	-	ND	ND	-	S63/4/1
鳥取県湯梨浜町	ND	ND	-	ND	ND - 0.099	86 - 430	ND	ND - 0.15	21 - 750	H2/10/1
島根県松江市	ND	ND	37 - 710	ND	ND - 0.060	22 - 630	ND	ND - 0.22	31 - 680	S63/3/31
岡山県岡山市	ND	ND	43 - 210	ND	ND	19 - 150	ND	ND	ND - 170	H4/2/1
広島県広島市	ND	ND	41 - 230	ND	ND	28 - 210	-	ND - 0.11	6.3 - 280	H1/2/1
山口県山口市	ND	ND	92 - 310	ND	ND	52 - 310	-	ND - 6.5	30 - 450	S63/10/1

水準調査における大気降下物の調査結果一覧(4)

単位: MBq/km²

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②			調査開始時期
	平成28年4月 - 平成29年3月			平成25年4月 - 平成28年3月			平成20年1月 - 平成22年12月			
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	
徳島県徳島市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	ND	-	H2/4/1
香川県高松市	ND	ND	12 - 250	ND	ND	38 - 160	ND	ND	18 - 250	S63/7/1
愛媛県松山市	ND	ND	-	ND	ND	-	-	ND - 0.13	-	S63/4/1
高知県高知市	ND	ND	23 - 360	ND	ND	34 - 390	-	ND	40 - 540	H1/11/1
福岡県太宰府市	ND	ND	72 - 180	ND	ND	29 - 370	ND	ND - 0.075	34 - 450	H1/10/2
佐賀県佐賀市	ND	ND	47 - 260	ND	ND	45 - 230	ND	ND - 0.20	18 - 420	S63/5/2
長崎県大村市	ND	ND	58 - 280	ND	ND	35 - 370	ND	ND - 0.085	15 - 430	H2/12/1
熊本県宇土市	ND	ND	73 - 330	ND	ND	39 - 220	-	ND - 0.11	20 - 240	H1/11/1
大分県大分市	ND	ND	36 - 410	ND	ND	16 - 310	-	ND	34 - 2700	S63/3/1
宮崎県宮崎市	ND	ND	73 - 460	ND	ND	ND - 610	ND	ND - 0.11	16 - 720	S63/8/1
鹿児島県鹿児島市	ND	ND	75 - 310	ND	ND	29 - 370	ND	ND - 0.040	21 - 300	S63/5/2
沖縄県うるま市	ND	ND	28 - 250	ND	ND	5.2 - 290	-	ND	0.10 - 360	S63/4/1

大気降下物の調査結果の評価

γ線スペクトロメトリーによって大気降下物を分析した結果、一部の調査地点では、人工放射性核種である ^{134}Cs 及び ^{137}Cs がわずかに検出されたものの、ほぼ全ての地点において検出下限値を下回った。
また、今回の調査結果は、概ね過去の調査結果(①過去3ヶ年度及び②東日本大震災以前のデータ)と比べて特段の変化は見られなかった。